

2020 年度事業計画

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

1. 2020 年度事業計画

(1) 会員活動 (:2020 年度新設またはリニューアル)

2020 年度も引き続き、フォーラム・研究会・研究プロジェクトの充実、活性化を目指して活動を実施する。

a. 会員交流

(a) フォーラム

昨年度から引き続き、下記のフォーラムを開催し、より活発な活動を進める。

- ・CIO エグゼクティブフォーラム (東京 1 グループ)
- ・IT 企業トップフォーラム (東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT 部門経営フォーラム (東京 5 グループ+関西 1 グループ)
- ・IT グループ会社経営フォーラム (東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・グローバルフォーラム (シンガポール 1 グループ)

(b) 研究会

2020 年度は下記 14 テーマについて研究会を実施する。

- ・ビジネスデータ研究会
- ・IT インフラ研究会
- ・サービスマネジメント研究会
- ・企業リスクマネジメント研究会
- ・ビジネスプロセス研究会
- ・IT 投資ポートフォリオ研究会
- ・組織力強化研究会
- ・システム開発・保守 QCD 研究会
- ・デザインスプリント実践研究会★
- ・AI 研究会
- ・デジタル変革リーダー自己育成研究会★
- ・ダイバーシティ&インクルージョン研究会
- ・組織内起業家研究会★
- ・アフターコロナ時代のデジタル&イノベーション研究会★

(c) アドバンスト研究会

個別グループでの設立申請を受け、政策企画委員会の審査・承認を経て活動を実施する。昨年度に引き続き、JUAS アカデミーでの成果報告を実施する。

例年 4 月に募集を実施していたが、2020 年度は緊急事態宣言を受けて募集時期を繰り下げ、5 月以降に募集する。

(d) 研究プロジェクト

2020年度は下記6つの研究プロジェクトを実施予定である。

- ・ソフトウェアメトリックス 2.0 研究プロジェクト
- ・IT 運用コスト研究プロジェクト
- ・システム高度化研究プロジェクト
- ・未来ビジネスフォーラム
- ・人と組織の Well-Being プロジェクト
- ・基幹システムのアジャイル開発研究プロジェクト(仮称)★

(e) 会員研修会 (JUAS アカデミー)

IT に関する最新技術、関連施策に加え、業界や市場の動き、海外動向、経営に適用し得る考え方等の
時宜に即したテーマを選び、単発の会員限定の研究会として開催していく。

集合型の JUAS アカデミーのみならず、オンライン配信についても企画・開催していく。

(f) 関西支部

前述の IT 企業トップフォーラム関西、IT 部門経営フォーラム関西、IT グループ会社経営フォーラム関
西のほか、ミドルマネジメントの意見交換の場として、PARK (The place of advanced relationship in
Kansai) を開催する。

(g) 情報セキュリティ WG

会員企業の中で、特に情報セキュリティの強化が必要と考えられる業種を主な対象に、2019 年度の活
動成果をふまえ、情報セキュリティに関する課題とその解決方法の共有と横展開を目指し、情報セキュリ
ティマネジメント、サプライチェーン・クラウドセキュリティ等をテーマに取り上げ、15 名程度の WG を
2 グループ程度開催予定である(1・2 か月に1 回程度の活動を予定)。

なお、2019 年度に検討した「情報セキュリティマネジメント層対象の体系的な人材育成プログラム」
については、教育研修事業の中で展開予定である。

b. 「認定個人情報保護団体」としての活動

2020 年度も前年度に引き続き、C 会員を中心に登録を受け付け、苦情相談等を実施する。

c. セキュリティセンター (プライバシーマーク審査事業)

2020 年度のプライバシーマーク審査件数は、1,760 件程度を見込んでいる。新型コロナウイルス感染症
流行および緊急事態宣言に伴い、現地審査・審査会の延期が発生し、2020 年度の審査件数減少が見込まれ
る。

審査を取り巻く環境の変化がある中、審査品質の維持・向上を目指し、月に2 回の審査員会議を継続し
て開催し、審査の基準の理解を深めていく。また、プライバシーマークに係る PMS の構築相談や情報共有
などの各種会員サービスも継続して行っていく。

(2) 教育研修事業

本年度も会員をはじめとした企業の人材育成、さらには組織力強化に寄与する教育研修として、オープンセ
ミナー、コース型研修や新人・配転者向けプログラム、オーダーメイド研修等を引き続き実施していく。加え
て各社の人材育成に寄与する新規テーマでの研修講座を企画、開催していく。さらに、集合・対面型コースの
みならず、オンラインで配信する講座の企画・開催も推進していく。

なお、2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の流行および緊急事態宣言を受け、4 月～5 月のセミナーを
中止するとともに、6 月以降もその影響が考えられるため、セミナー開催数の減少が見込まれる。

(3) 普及推進事業

a. JUAS スクエア 2020

2020年7月8日(水)にホテル雅叙園東京(目黒)にて、双方向型の情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンス「JUAS スクエア 2020」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症流行の状況をふまえ2020年度は開催中止を決定した。本年度は2021年の開催に向け内容のより一層の充実を目指し準備を進める。

b. イノベーション経営カレッジ

2020年度も引き続きイノベーション経営カレッジの活動をプログラム(人材育成)、コミュニティ(同窓会)、ラボ(研究)の3つのカテゴリーで実施する。

これまで17回実施してきたミドルマネジメント層向けのプログラムを引き続き実施するとともに、2018年度より新たに実施した事業創造のための協創の場「Challenge Camp」についても前年度の活動をふまえ下期に実施予定である。

(4) 調査研究

a. ソフトウェアメトリックス調査

2004年度から継続しているソフトウェア開発生産性に関する品質、価格、工期等のメトリックス調査は、2017年度に内容を大幅に見直しして4年目となるが、さらなるデータ蓄積を図り、分析を充実させていく。

b. IT 運用コストメトリックス調査

2016年から、運用コストの適正化に資する指標の提供を目指した調査を、2020年度も引き続き実施予定である。

c. デジタルトランスフォーメーション(DX)調査

前年度に引き続き、経済産業省と共同で「DX調査」の事務局を担当する。

d. 産業別高齢者雇用推進事業 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構委託事業

急速な少子高齢化の進展のもと、産業ごとに高齢者の持つ豊かな知識・経験を図り、産業・企業の活性化を図ることを目指し、企業における高齢者の状況と課題を調査し、65歳以降も企業で活躍してもらうための方策をとりまとめる。

JUASでは「情報子会社」を対象に調査を実施している。多くの情報子会社は、1980年～1990年代に設立され、当初に入社した社員が高齢に差し掛かっている。高齢層の持つ技術やノウハウを継承しつつ、強みを活かして活躍してもらうために必要な方策を調査・検討している。

2年目となる2020年度は、ガイドラインを取りまとめるとともに、普及のためのセミナーを実施予定である。

e. サイバーセキュリティ人材調査 経済産業省委託事業

デジタルトランスフォーメーションの推進の展開に伴い、サイバーセキュリティがより一層重要となってきた。本調査では、サイバーセキュリティ経営の実現に向けた取組や、企業におけるセキュリティ人材の活躍モデルについて調査・検討する。

(5) 企業 IT 動向調査

企業のIT投資、IT導入状況、IT活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施する。また、ユーザー企業における重要課題を「重点テーマ」と位置づけ、解決に向けた指針を提言することを目的とする。実施に際しては、調査委員会・調査部会を組織し、テーマ選定、調査内容企画、分析、報告書執筆を行う。調査の方法は、アンケートとインタビューを併用する予定である。また、アンケート調査は2017年度より継続して、郵送とWeb回答を併用する。

2012年度より公益目的支出計画の実施事業として、継続的に実施している。